

CONTENTS

- 第 65 回通常総会…………… 1
- 令和 3 年度 第 3 回理事会及び第 5 回監事会…………… 5
- 当会顧問会計士による会計相談会について…………… 5
- 令和 4 年度 第 1 回理事会及び第 1 回監事会…………… 6
- 全国水土里ネット第 64 回通常総会…………… 7
- 令和 3 年度 換地計画実務研修会…………… 7
- 埼玉県農村整備課関係人事異動…………… 8
- 本会組織図及び職員配置図…………… 9
- 埼玉県ため池サポートセンターのご案内…………… 11
- 金利改定…………… 12
- 用水時期の注意喚起について…………… 12
- 水土里ネットをPRしませんか?…………… 12
- 退職者の紹介…………… 13
- 新規職員の紹介…………… 13
- 第 44 回全国土地改良大会沖縄大会…………… 14
- 連合会日誌…………… 14
- 第 10 回 彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト…………… 15

埼玉の土地改良

桜咲く季節（行田市）



第 65 回 通 常 総 会

埼玉県土地改良事業団体連合会（会長 三ツ林裕己会長）の第65回通常総会は、去る3月28日（月）鴻巣市「鴻巣市文化センター クレアこうのす」において開催された。

なお、開催に際しては新型コロナウイルス感染症対策として、鴻巣市の利用ガイドラインに沿った感染拡大防止対策を講じた。

吉田副会長の開会の辞に始まり、三ツ林会長の挨拶（別記）、続いて来賓の関東農政局大角亨局長、埼玉県農林部強瀬部長より祝辞をいただいた。

来賓の方々の紹介の後に、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長、中屋敷慎一県議会議長、進藤金日子全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問、宮崎雅夫全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問、衆議院野中厚議員皆様からの祝電を披露し、表彰式に入った。

表彰式では、土地改良事業功労者表彰状（18名）、土地改良事業功労感謝状（5名）、土地改良事業推進協力感謝状（7名）、全国土地改良事業団体連合会全国土地改良功労者表彰（団体1地区、個人4名）が贈呈された（別記）。

議事は、議長に増山貞男庄内領用悪水路土地改良区理事長が選任され、令和3年度収支補正予算、埼玉県土地改良事業団体連合会定款の一部改正、令和4年度事業計画及び収支予算、同経費の賦課及び徴収方法並びに受託料の基準、同役員報酬、同一時借入金の限度額及び借入方法並びに余裕金、積立金の預入先、役員の選任の7議案を審議し、原案のとおり全会一致で承認可決された。

なお、役員の選任については、各支所から1名の選考委員により役員候補者の選考が行われ、理事17名、監事3名（別記）が選任された。

最後に決議文が朗読され、満場一致でこれを採択され、坪井副会長の閉会の辞により終了した。



会長挨拶



総会の様子

会長挨拶

第65回通常総会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

まず、今回の総会につきましては、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が解除され、3年ぶりに例年通りに開催することができました。

しかし、感染者の数は減少傾向ではありますが、毎日多くの方が感染しております。引き続き、感染防止対策を講じながら、総会を進めてまいりますので、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

このような中、本日ご出席いただいた会員の皆様には、大変感謝申し上げます。

また、日頃から本会の運営について、御指導をいただいております、関東農政局長 大角様、埼玉県農林部長 強瀬様をはじめ、多くの御来賓の皆様には、年度末で公務御多用の中御臨席を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、国では、令和3年に策定された「土地改良長期計画」の実現に向け、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適時適切な補修・更新や省エネ化・再エネ利用等を行い、農業を魅力ある産業として担い手に引き継いでいくこと、加えて全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、近年、気候変動による豪雨災害や大規模地震が頻発しており、農村地域の防災・減災対策の推進を重要な課題としています。

来年度の農業農村整備事業関係予算は、令和3年度補正予算1,832億円と令和4年度当初予算4,453億円を合わせますと、6,285億円でございます。

これも皆様方が県と連携し、農林水産省をはじめ、財務省、国会議員等に対して強力な要請活動を展開し、予算確保をお願いしていただいた結果と思っております。

今後とも、会員の皆様とともに、埼玉県の農業農村の課題を国や国会に届けてまいります。

また、県予算につきましても、昨年11月に大野知事にお会いし、「大区画ほ場整備の推進」「農業水利施設の計画的な更新」「農業用ため池の防災、減災対策の推進」「農業集落排水施設の更新」など、関係予算の増額と農業農村整備の支援をお願いしております。

さて、本国会に提出されている「土地改良法の一部を改正する法律案」では、市町村、土地改良区等の技術職員が不足する中、ため池等に係る防災、減災対策や小規模な農業生産基盤の整備を円滑に行うために、土地改良事業団体連合会は、市町村、土地改良区等からの委託を受けて、土地改良事業の工事を行うことが出来ることが含まれました。

本会では、国、県、全土連と連携して、市町村や土地改良区とともに、直面する多くの課題である、農業の競争力強化、農村地域の防災、減災対策及び土地改良区の体制強化を着実に進めてまいります。皆様の、益々の御協力をお願いいたします。

次に、本会の運営状況に触れさせていただきます。

国の農業農村整備事業関係予算が確実に回復していることや、「農業集落排水施設」の最適整備構想策定、防災重点農業用ため池の耐震、豪雨及び劣化調査などの業務の増などにより、収入の柱である受託収入は少しずつ回復してきております。

令和3年度は、受託事業費を1億1千7百万円増額して、5億円を確保することができました。この収入により、計画通り財政調整積立金5千万円を積むことができました。

本会では、平成13年から経営改善に向けた「ボーナスのカット」、平成19年から「勸奨退職」と「早期希望退職」による人員削減を実施し、支出の縮減を図ってまいりました。

受託収入の確保に努め、少しずつ収支バランスは改善しておりますが、依然厳しい状況に変わりはありません。

今後も、受託収入をしっかりと確保できますよう役職員一丸となってしっかりと運営をしてまいります。

皆様には現状を御理解いただき、本会の一層の活用について特段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

本日はこの後、永年にわたり、本県農業農村整備事業の推進に御尽力された皆様の功績をたたえて、表彰状・感謝状を贈呈し、敬意と感謝の意を表したいと存じます。

また、本日、御審議をいただきます議案は、

議案第1号 令和3年度収支補正予算について

議案第2号 埼玉県土地改良事業団体連合会定款の一部改正について

議案第3号 令和4年度事業計画及び収支予算について

議案第4号 令和4年度経費の賦課及び徴収方法並びに受託料の基準について

議案第5号 令和4年度役員報酬について

議案第6号 令和4年度一時借入金の限度額及び借入方法並びに余剰金、積立金の預入先について

議案第7号 役員を選任について

でございます。慎重審議をお願いいたします。

農業・農村を取り巻く環境は、依然厳しい状況にありますが、皆様と共に埼玉農業の発展に貢献してまいり所存ですので、一層の御理解と御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びにあたり、会員の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、あいさついたします。



令和4年3月28日
埼玉県土地改良事業団体連合会
会長 三ツ林裕己

土地改良事業功労者表彰受賞者

<順不同・敬称略>

支 所	所 属	役 職	氏 名
さいたま	見沼代用水土地改良区	参事兼事務局長	寺西 智
さいたま	見沼代用水土地改良区管理部管理課	課長	羽鳥 修弘
さいたま	見沼代用水土地改良区管理部管理課	主幹	関根 政弘
さいたま	笠原土地改良区	理事長	藤村 正彦
川 越	箕和田用水土地改良区	代表監事	関口 治平
川 越	荒川右岸用排水土地改良区	前総代	島村 喜雄
東松山	ときがわ町会計室	室長	坂本由紀夫
東松山	嵐山南部土地改良区	理事長	長島 登
秩 父	小鹿野町産業振興課	主査	坂本 旭
本 庄	上里土地改良区	前副理事長	内山 英明
本 庄	埼玉北部土地改良区連合	副理事長	松本 勝房
大 里	妻沼西南土地改良区	副理事長	小沼 浩之
大 里	荒川中部土地改良区	理事	内田 酉二
大 里	明戸北部土地改良区	理事長	高橋 恒夫
加 須	加須市大利根総合支所	参事兼農政建設課長	中島 久彦
加 須	元荒川上流土地改良区	工務課長補佐兼工務係長	矢野 泰史
加 須	荒木郷地裏土地改良区	理事長	野村 正幸
春日部	新方領用悪水路土地改良区	前理事長	内田 勝康

土地改良事業功労者感謝状受賞者

<順不同・敬称略>

所 属	役 職	氏 名
東松山農林振興センター	副所長	小笠原政徳
春日部農林振興センター	整備支援・管理担当部長	森 和義
農村整備計画センター	利根中央水利調整管理担当部長	穂間 孝明
埼玉県総合技術センター	主任工事検査員	山中 勝裕
埼玉県土地改良事業団体連合会	技 監	原田 雅文

土地改良事業推進協力感謝状受賞者

<順不同・敬称略>

支 所	所 属	役 職	氏 名
さいたま	馬宮土地改良区	事務	大久保敦代
川 越	越生町産業観光課	課長補佐	深田 智
東松山	小川町上下水道課	課長	井上 正昭
秩 父	秩父用水土地改良区	嘱託	横田 茂樹
大 里	深谷市下水道工務課	技師	小山内一考
加 須	加須市経済部	副部長兼農業振興課長	駒宮 敏之
春日部	久喜市下水道施設課	主任	大久保真琴

決 議

地球規模の異常気象により大規模災害が世界各地で頻発するとともに、資材価格の上昇、労働者不足、バイオ燃料の需要の増加など様々な要因が加わって世界の食料価格が高騰している。また、新型コロナウイルス感染症の社会的、経済的な影響は全世界に及び、一部輸出国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料の確保や流通の機能不全に国民が不安を覚えた。我が国の農業・農村に目を向けると、人口減少の波が都市に先行して強く押し寄せ、農業従事者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じることで営農の継続が困難になるなど様々な問題に直面している。国民の命を支える食料を確保することは、このような国内外の情勢いかんに関わらず後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の確立の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければならない。

令和二年三月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」、令和三年三月に閣議決定された新たな「土地改良長期計画」及び令和三年五月に策定された「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、農地の集積・集約、農地の大区画化・汎用化等の農地整備、スマート農業の展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の維持・更新を適時適切に行い、農業を魅力ある産業として担い手に引き継いでいくことが極めて重要な課題となっている。加えて、全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、令和三年七月梅雨前線豪雨災害に代表されるように、気候変動による豪雨災害や大規模地震が頻発しており、国民の生命と財産を守るためにも、洪水被害防止対策やため池等の耐震化などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が極めて重要な課題となっている。

このような中で、土地改良制度については、平成二十九年、三十年に土地改良法が改正され、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担を求めない農地整備事業や、ため池等の耐震化を迅速に進める事業等が創設されるとともに、現在開会中の第二〇八回通常国会においては、これらの事業を拡充するとともに、土地改良事業団体連合会の新たな業務（防災・減災対策等について土地改良区等へ交付する業務、小規模な基盤整備について土地改良区や市町村から委託を受けて工事を実施する業務）や土地改良区の組織変更制度を追加する土地改良法改正案が審議されているところである。

また、令和元年に「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が、令和二年に「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行され、ため池工事等を推進する措置が講じられ、ため池サポートセンターの設置などの取り組みが展開している。

水土里ネットには、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務があると同時に、国民の生命と財産を守るため、農村地域の防災・減災対策等の国土強靱化を継続的に推進していくことが求められている。水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を最大限に発揮するため、その体制強化を図っていく必要がある。

土地改良関係予算については、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、令和三年度補正予算、令和四年度当初予算を合わせて、全国の要望を満たす六二八五億円を確保することができた。水土里ネットは、この予算を活用し、農業・農村、更には、水土里ネット自身が抱える課題をも直視しながら、国が示した農政の展開方向を踏まえ、男女共同参画を推進しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

このため水土里ネットさいたまは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、次の事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一 土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設管理の省力化・高度化を図るとともに、情報通信技術を扱う土地改良技術者等の人材育成を図ること。
- 六 主として中小規模の土地改良区を対象とした合併等を推進するとともに、土地改良区における複式簿記の定着・活用など、運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 七 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組み農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。
- 八 水田活用の直接支払交付金の見直しにおける現場の課題の検証においては、土地改良に与える影響を検証し、必要な措置を講ずること。
- 九 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

令和四年三月二十八日

水土里ネットさいたま（埼玉県土地改良事業団体連合会）第六十五回通常総会

令和3年度 第3回理事会及び第5回監事会

埼玉県土地改良事業団体連合会は、令和3年度第3回理事会を2月28日（月）本会大会議室において開催した。理事会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、次の事項について審議され、全議案及び協議事項ともに原案どおり可決された。

【議 事】

- 議案第1号 令和3年度収支補正予算（案）について
- 議案第2号 埼玉県土地改良事業団体連合会定款の一部改正について
- 議案第3号 埼玉県土地改良事業団体連合会職員退職給与規程の一部改正について
- 議案第4号 埼玉県土地改良事業団体連合会会計規程の一部改正について
- 議案第5号 埼玉県土地改良事業団体連合会受託業務に関する規程の一部改正について
- 議案第6号 令和4年度役員報酬（案）について
- 議案第7号 第65回通常総会の招集について
- 議案第8号 第65回通常総会の提出議案について
- 議案第9号 土地改良事業功労者表彰、土地改良事業功労者感謝状及び土地改良事業推進協力感謝状受賞者の選考について
- 協議事項 決議（案）について

なお、報告事項として令和3年度収支状況、令和3年度第2回監査結果等が報告された。
また、当日理事会に先立ち、本年度第5回監事会が同所2階会議室において開催された。

当会顧問会計士による会計相談会について

当会では、決算関係書類等に関する指導・助言を、会計の専門家と連携して行っています。

令和4年度からの賃借対照表作成の義務化に向けて、当会顧問会計士による個別相談会を実施いたします。この相談会に参加を希望される方は、下記お問合せ先まで事前にご予約ください。多数のご参加をお待ちしております。

場 所 埼玉県土地改良事業団体連合会
3階大会議室

日 程

第1回	令和4年6月20日（月）
第2回	7月6日（水）
第3回	8月5日（金）
第4回	9月5日（月）
第5回	10月5日（水）
第6回	11月10日（木）
第7回	12月5日（月）
第8回	令和5年1月13日（金）
第9回	2月7日（火）



お問い合わせ先

水土里ネットさいたま
総務部総務課
TEL 048 - 530 - 7335

令和4年度 第1回理事会及び第1回監事会

埼玉県土地改良事業団体連合会は、令和4年度第1回理事会が4月25日さいたま市埼玉県男女共同参画推進センターにおいて開催された。附議事項の

議案第1号 会長、副会長、常務理事の互選については、会長に三ツ林裕己氏（葛西用水路土地改良区理事長）、副会長に原田信次氏（美里町長）、坪井 茂氏（見沼代用水土地改良区理事長）が選任され、常務理事には、大岡早孝氏（学識経験者）が選任された。

議案第2号 支所長の選任について、次のとおり決定された。

さいたま支所長	坪井 茂氏（見沼代用水土地改良区理事長）
川越支所長	川合 善明氏（川越市長）
東松山支所長	森田 光一氏（東松山市長）
秩父支所長	北堀 篤氏（秩父市長）
本庄支所長	原田 信次氏（美里町長）
大里支所長	小島 進氏（深谷市長）
加須支所長	河田 晃明氏（羽生市長）
春日部支所長	三ツ林裕己氏（葛西用水路土地改良区理事長）

なお、報告事項として令和4年度理事会開催予定、第44回全国土地改良大会、農業農村整備の集いについてが報告された。

また、同日、本年度第1回監事会が同所セミナー室において開催された。附議事項の

議案第1号 代表監事の互選については、代表監事に、竹内昭一氏（新堀土地改良区理事長）が再任された。

議案第2号 令和4年度監事会開催予定並びに監査実施計画についてを審議し、可決された。

埼玉県土地改良事業団体連合会（役員紹介）

（順不同・敬称略）

役職	氏名	所属
会長	三ツ林 裕 己	葛西用水路土地改良区理事長
副会長	原 田 信 次	美里町長、美尻沢用水土地改良区理事長、美里第二土地改良区理事長
副会長	坪 井 茂	見沼代用水土地改良区理事長
常務理事	大 岡 早 孝	埼玉県土地改良事業団体連合会
理事	星 野 和 夫	馬宮土地改良区理事長
理事	川 合 善 明	川越市長
理事	内 田 光 夫	荒川右岸用排水土地改良区理事長
理事	森 田 光 一	東松山市長
理事	吉 田 昇	滑川町長
理事	北 堀 篤	秩父市長
理事	吉 田 信 解	本庄市長
理事	小 林 哲 也	熊谷市長
理事	小 島 進	深谷市長
理事	夏 目 亮 一	大里用水土地改良区理事長、池上土地改良区理事長
理事	河 田 晃 明	羽生市長
理事	高 澤 克 芳	元荒川上流土地改良区理事長
理事	木 村 純 夫	幸手市長
代表監事	竹 内 昭 一	新堀土地改良区理事長
監 事	金 子 正 夫	西吉見南部土地改良区理事長
監 事	山 崎 繁 雄	埼玉県北川辺領土地改良区理事長

全国水土里ネット第64回通常総会

全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）では、去る3月24日、東京都千代田区平河町「全国都市会館」において第64回通常総会が開催された。

附議された議案は、全土連定款及び規約の一部改正、令和2年度事業追加報告、同収入支出決算、令和3年度事業中間報告、同一般会計収入支出補正予算、令和4年度事業計画、同一般会計収入支出予算、同土地改良施設維持管理適正化事業防災減災機能等強化事業特別会計の設置及び収入支出予算、同経費の賦課、役員の報酬、借入金、役員の補欠選任等14件の議案を審議し、全会一致で原案のとおり承認可決された。

また、例年であれば全国水土里ネット表彰式が執り行われる予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の表彰式については中止とし、受賞者には賞状が送付され、本会からは記念品が贈呈された。なお、埼玉県内の受賞者は以下のとおり。

全国土地改良功労者表彰

〈団体表彰〉熊谷中央土地改良区（理事長 浅見 五兵 氏）

〈個人表彰〉柿沼 寿之 氏（元荒川上流土地改良区事務所長）
小久保正史 氏（荒川右岸用排水土地改良区事務局長）
岡田 隆広 氏（荒川右岸用排水土地改良区次長）
佐藤 政道 氏（荒川中部土地改良区所長）

令和3年度 換地計画実務研修会

3月17日（木）、大宮ソニックシティ（さいたま市）において、標記研修会が開催された。

当研修会は土地改良換地士及び換地事務を担当している県・市町村・土地改良区の役職員及び換地技術者等を対象に毎年実施しているもので、本年は19名の参加があった。

本年は2年ぶりに外部から講師を招き、換地をとりまく制度や法改正などについて研修をいただいた。最新の法改正の内容や他県の事例等を共有でき、充実した講義となった。

講義後の質疑応答の際には活発な意見交換がなされ、研修会は盛況裏に終了した。

研修内容

『換地をめぐる諸情勢について』

講師：全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター所長 松尾 房雄 氏



講師：中央換地センター所長 松尾 房雄 氏



講義の様子

県農村整備課関係人事異動

(令和4年4月1日付け)

※ () は前職または前所属

【農村整備課】

課長 木村 眞司
(加須農林振興センター副所長)

副課長 岩上 秀雄
(農村整備計画センター副所長)

副課長 辻村 滋
(川越農林振興センター農村整備部長)

主幹 川田 哲司
(さいたま農林振興センター担当部長)

主幹 橋本 敦 (農業政策課課付)

【さいたま農林振興センター】

担当部長 浅見路加寿
(東松山農林振興センター担当部長)

【川越農林振興センター】

所長 竹詰 一 (農業ビジネス支援課長)

農村整備部長 富岡 誠
(春日部農林振興センター担当部長)

【東松山農林振興センター】

所長 野口雄一郎 (農業支援課長)

副所長 加藤 和彦
(大里農林振興センター副所長)

担当部長 塚本 晃司 (農村整備課主幹)

担当部長 中山真美子
(東松山農林振興センター担当課長)

担当課長 吉村 貴幸
(春日部農林振興センター主任)

【秩父農林振興センター】

農村整備部長 田尾 正明 (農村整備課副課長)

【本庄農林振興センター】

所長 今西 典子 (農業政策課副課長)

【大里農林振興センター】

副所長 長島 敦 (土地水政策課副課長)

担当課長 飯島那河子 (農村整備課主査)

【加須農林振興センター】

所長 稲場 康仁 (農村整備課長)

副所長 吉田有紀彦
(春日部農林振興センター副所長)

担当課長 大出 一仁
(春日部農林振興センター担当課長)

担当課長 穂間 孝明
(農村整備計画センター担当部長)

【春日部農林振興センター】

副所長 西澤徳一郎 (農村整備課副課長)

担当部長 関和 伸幸 (農村整備課主査)

担当課長 横堀 正文
(鉄道高架建設事務所担当課長)

担当課長 金澤香穂里 (計画調整課主査)

【農村整備計画センター】

副所長 沼尻 文明
(秩父農林振興センター農村整備部長)

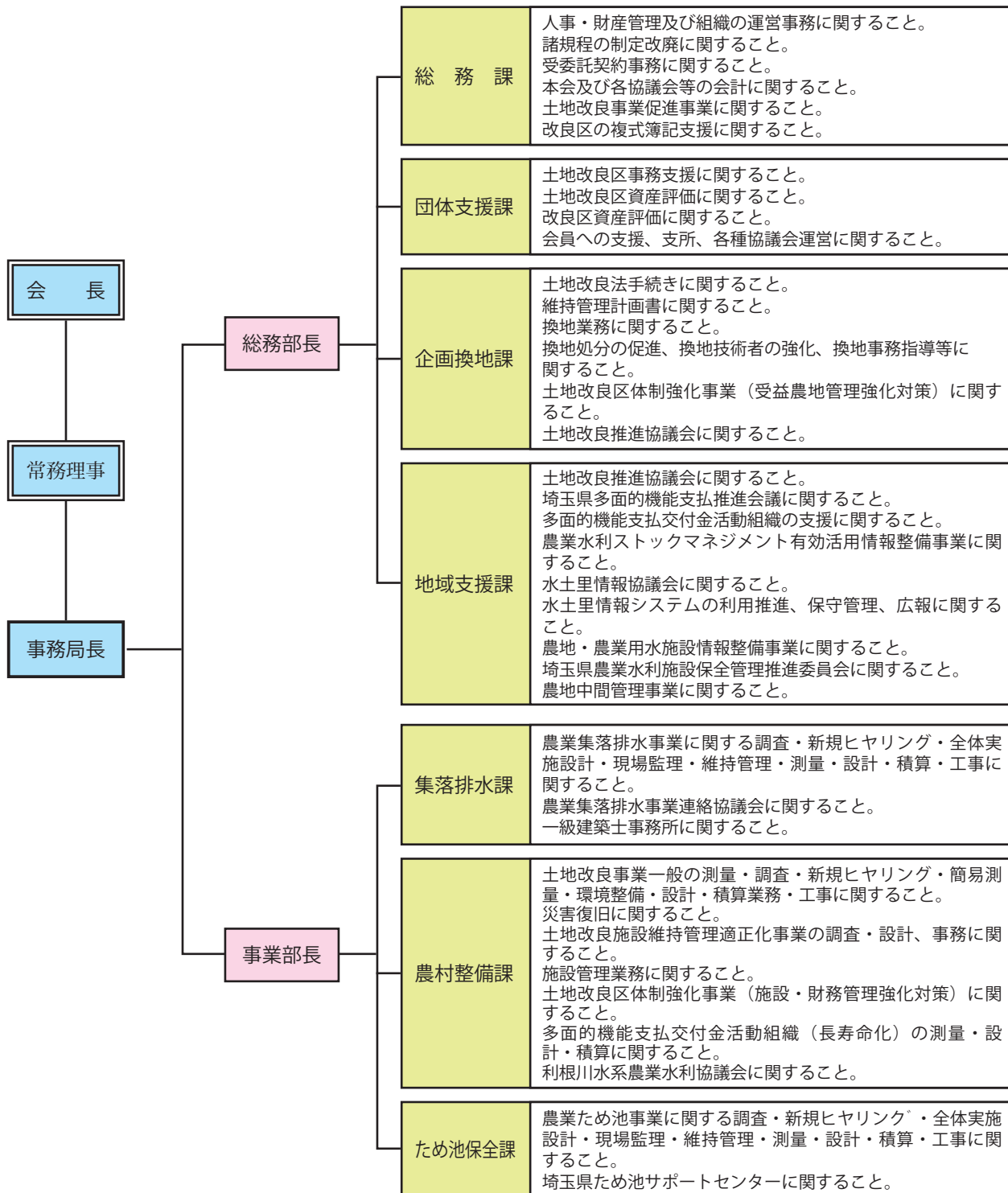
担当部長 池ノ上純代
(大里農林振興センター担当部長)

令和4年度 本会組織図及び職員配置図

本会では、業務の効率化及び経営体強化を図るため、4月1日付で組織改正を行いました。会員の皆様に今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和4年度の本会組織図及び職員配置図は、次のとおりです。

【組織図】



【職員配置図】

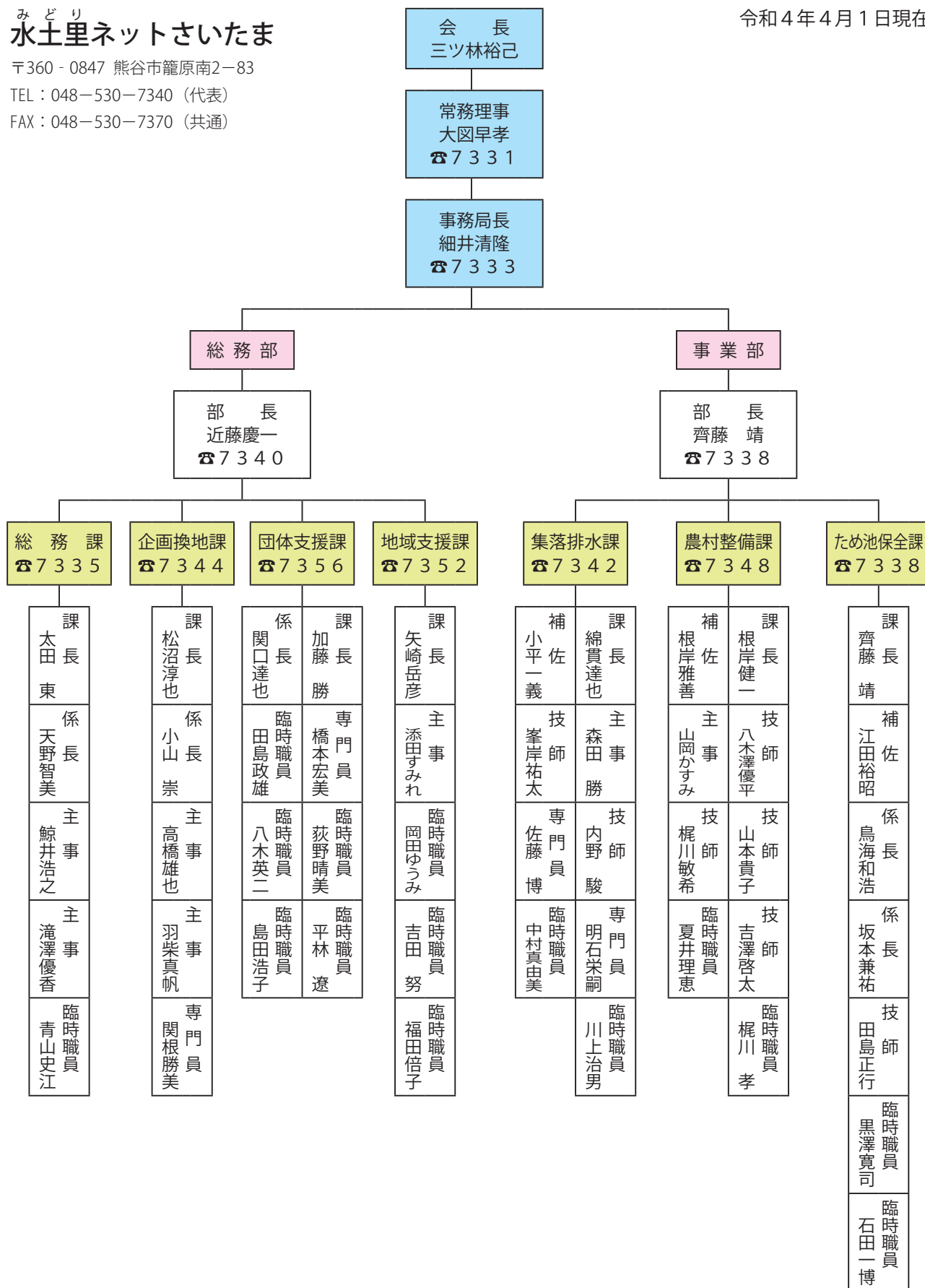
みどり
水土里ネットさいたま

〒360 - 0847 熊谷市籠原南2-83

TEL：048-530-7340（代表）

FAX：048-530-7370（共通）

令和4年4月1日現在



埼玉県ため池サポートセンターのご案内

＜サポートセンターの相談窓口受付時間＞

ご利用は無料です

毎週月曜日（令和3年5月開設）

※国民の休日や年末年始
（12月29日から1月3日）は除く。

9:00～12:00

13:00～16:00



- ご相談は、**水土里ネットさいたま ため池保全課** までお願いします。
 - 来所、電話、またはメールでの対応とさせていただきます。
 - ご相談の際には、「ため池の名称」及び「ため池の所在地」をお知らせください。
 - 来所される場合には、あらかじめ電話にて**ご予約**をお願いいたします。
- ※ため池管理者以外の方は、お住まいの市町村担当窓口へご相談ください。

サポートセンターの支援内容

管理者等の技術的相談窓口

- ため池管理者からの相談を受けます。
- ・相談方法／来所（要予約）、電話、メール
 - ・担当課／ため池保全課
 - ・連絡先／048-530-7338（直通）
 - ・受付日時／毎週月曜日の9時～12時・13時～16時
※国民の休日、年末年始は除く
 - ・留意事項／管理者以外の相談はお住いの市町村窓口へ

ため池パトロール

- ため池が適正に保全管理されているか、現地を巡回し状況を確認します。
- ・対象／防災重点農業用ため池
 - ・留意事項／現地確認は、ため池管理者の立会いの下、市町村担当者とともに実施します。

早急な対応が必要と判断された場合

助言・現場指導

管理者に対して補修や適正な管理のための技術的な助言・現場指導やその他の支援等を行います。

現場指導状況



現場詳細調査状況

普及啓発活動

- ・ため池の改修や補修、維持管理、緊急時の対応方法等について、管理者に対し技術研修会を行います。
- ・ため池の保全・活用に関する手引き等、様々な情報発信を行います。



お問合せ先

〒360-0847 埼玉県熊谷市籠原南2丁目83番（埼玉県土地改良事業団体連合会内）
 TEL 048-530-7338（ため池保全課直通）
 FAX 048-530-7370
 メール tamesapo@saidoren.or.jp
 URL <http://www.saidoren.or.jp/tamesapo/>

【設置者】埼玉県

【運営者】埼玉県土地改良事業団体連合会

農業基盤整備資金の金利改定について

4月18日 付けの株式会社日本政策金融公庫及び沖縄振興開発金融公庫の農業基盤整備資金の金利改定について、下記のとおりお知らせします。

区 分	改 定 前					改 定 後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）				融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.65	—	—	—	—	0.65	—	—	—	—
団体営補助残	0.50	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—
非補助一般	0.50	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.50	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—
災害復旧	—	0.17	0.25	0.45	0.50	—	0.18	0.35	0.45	0.50

お問合せ先 水土里ネットさいたま 事業部農村整備課担当 根岸 TEL 048-530-7348

用水時期の注意喚起について

本格的な田植えの時期となり、農業用水路には河川からたくさん水を引き入れはじめています。農業用水路は、効率的に水を届けるために水の流が速くなっています。うっかり落ちたりすると思ってもよらない速さで流されてしまいます。

たくさん水のある農業用水路のそばでは遊ばない、フェンスなどを越えて中に入らない、危なそうなところは早めの対策を講じるなど、みんなで見守っていきましょう。



水土里ネットをPRしませんか？

水土里ネットの紹介、イベント開催のお知らせ、地元で古くから伝わる逸話・・・など水土里ネットに関係するものであれば何でも結構です。
 私たちの水土里ネットを「埼玉の土地改良」を使って広くPRしてみませんか？
 詳細については、お問い合わせください。

お問合せ先 水土里ネットさいたま 総務部総務課 TEL 048-530-7335

退職者の紹介



技監（前 事務局長） 原 田 雅 文（昭和55年採用）

令和4年3月31日付けで1名が退職いたしました。

会員並びに関係機関の皆様には、大変お世話になり有難うございました。



新規職員の紹介



総務部企画換地課 羽 柴 真 帆

今年度4月より埼玉県土地改良事業団体連合会企画換地課の新規採用職員となりました羽柴真帆です。

私は日頃、地場産の農作物を購入し、消費しています。新鮮で美味しく、安全な農作物を育てる農地の整備は、農業の根幹であると考えます。農地整備事業に関する様々な支援を行う、埼玉県土地改良事業団体連合会の職員として業務に携わりたいと思い、志望致しました。

聞きなれない用語をはじめ、図面を使った作業等や現場での作業など、日々の仕事はこれまで経験のないことばかりで不安もありますが、入会以降先輩方には色々と親切にご指導いただいております。

教えていただいたことを1日でも早く身に付けられるよう努めていきたいです。

ご迷惑をおかけしてしまうかと思いますが、ご指導のほどよろしく願いいたします。



事業部農村整備課 吉 澤 啓 太

今年度4月より、埼玉県土地改良事業団体連合会農村整備課の技師となりました吉澤啓太です。

私は、環境を維持しながら誰かの役に立てる仕事がしたいと考えました。

そこで、高校で学んだ製図や測量の技術を活かせると思い、志望しました。

少し前まで高校生だった私が社会人としてやっていけるのか心配でしたが、先輩方が優しく接して下さり、安心しました。

最近では、現場に出て作業することがあり、学校では習わなかったやり方などを学ぶことができ、とてもためになっています。

慣れないこともまだまだ多いですが、早く仕事を覚えて活躍出来るよう頑張りますので、よろしく願いいたします。

第44回 全国土地改良大会沖縄大会

来たる11月22日（火）、沖縄県において、第44回全国土地改良大会沖縄大会が開催されます。

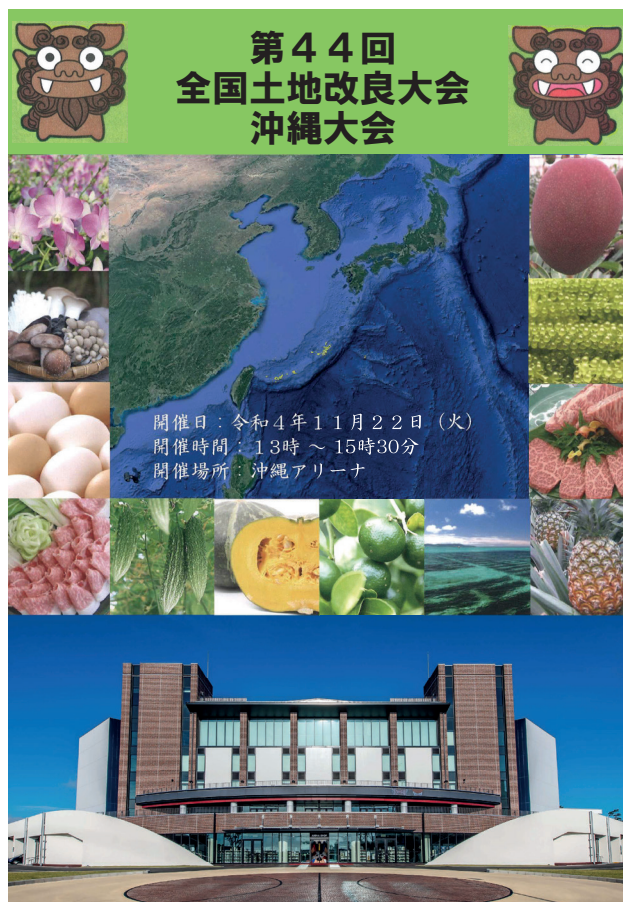
全国土地改良大会は、「農業・農村の重要性」とそれを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールして国の礎である農業・農村をさらに発展させるとともに、広く次世代へ引き継いでいくことを目的として開催され、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に集う式典です。

日程は以下のとおりとなっています。

日時 11月22日 火

開催地 ■大会式典・交歓会
「沖縄アリーナ」
沖縄県沖縄市山内1-16-1

主催 全国土地改良事業団体連合会
沖縄県土地改良事業団体連合会



第44回
全国土地改良大会
沖縄大会

開催日：令和4年11月22日（火）
開催時間：13時～15時30分
開催場所：沖縄アリーナ

連合会日誌

開催日	会議・行事	開催地
2月	25日 都道府県土連ブロック代表事務責任者会議	Web形式
	25日 都道府県土連事務責任者会議	Web形式
	28日 本会第4回理事会及び第5回監事会	熊谷市
3月	24日 全国水土里ネット第64回通常総会	東京都
	28日 本会第65回通常総会	鴻巣市
	31日 本会令和3年度仕事納め式	熊谷市
4月	1日 本会令和4年度仕事始め式	熊谷市
	19日 都道府県土地改良事業団体連合会長・事務責任者等合同会議	東京都
	25日 本会第1回理事会及び第1回監事会	さいたま市

第10回 彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト

豊かな自然環境や美しい農村環境など、埼玉県内の農業、農村の魅力を伝える写真を募集します。

募集テーマ 『埼玉を彩る農業・農村の^{みどり}水土里』

募集期間 令和4年5月13日(金)～令和4年10月5日(水) ※当日消印有効

応募要領 埼玉県内の令和3年以降に撮影された未発表の作品で、応募者本人が撮影し使用权を含む著作権を有しているものに限る。

- 応募資格 どなたでも応募可能
 - 応募サイズ 四つ切りまたはA4サイズ
 - 撮影方法 デジタル・ネガフィルム ※画像加工不可
 - 応募数 1人3点以内
- 同一作品の他の写真コンテストへ応募・入選作品は応募不可



各賞

- | | |
|------------------|-------------------|
| 水土里ネットさいたま会長賞 | 1点(表彰状、商品券3万円分) |
| さいたま土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券1万円分) |
| 川越土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券1万円分) |
| 東松山土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券1万円分) |
| 秩父土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券1万円分) |
| 本庄土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券1万円分) |
| 大里土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券1万円分) |
| 加須土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券1万円分) |
| 春日部土地改良推進協議会会長賞 | 1点(表彰状、商品券5千円分) |
| 学生優秀賞(18歳以下に限る) | 1点(表彰状、図書カード5千円分) |
| 入選 | 10点以内 |
| 参加賞 | 応募者全員に粗品進呈 |

審査・入賞作品発表

12月中旬に審査発表予定。
入賞者に直接通知のうえ、本会ホームページ等で発表。

お問合せ先

埼玉県土地改良事業団体連合会
総務部地域支援課
TEL 048-530-7352
URL <http://www.saidoren.or.jp>



応募先

〒360-0847 熊谷市籠原南二丁目83番地
埼玉県土地改良事業団体連合会 総務部地域支援課 「彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト係」



水土里ネットさいたま
埼玉県土地改良事業団体連合会

〒360-0847 熊谷市籠原南二丁目83番地
TEL 048(530)7340 FAX 048(530)7370
<http://www.saidoren.or.jp/>

